

## 小学部 研究授業

9月11日(月曜日) 中央特別支援学校 赤羽睦子先生を助言者にお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 児童の「できた!」「わかった!」があふれる授業づくり

～児童の気持ちに応じた支援を工夫して～

<研究授業> 遊びの指導 (小学部1年生)

単元名「ひえひえランドであそぼう」

「楽しかった」「またやりたい」を実感する児童の姿を目指し、感触遊びを題材として取り上げました。水・氷・寒天の3つの感触を利用したコーナー遊びを設定しました。これらの教材による感触や音などで変化を楽しみながら、様々な遊びに挑戦しようとする主体性を養うことができると考えました。



友達の様子をまねして、袋の中に色水や色氷を入れてジュースを作ることができました。また、コップに移し替えて、近くにいた教師に「(ミックスジュース) あげる!」と言って渡し、やり取りも楽しむことができました。

赤羽先生からは、できる限り制限することなく、いろいろな遊びを経験できるように配慮し、遊びの楽しさを味わえるようにしていくことを大切にしつつ、ルールを分かりやすく提示することも大事だと御助言いただきました。また、「できた」「わかった」の言語化をすることがフィードバックに繋がるとお話いただきました。御助言いただいたことを、今後の授業に活かしていきたいです。

